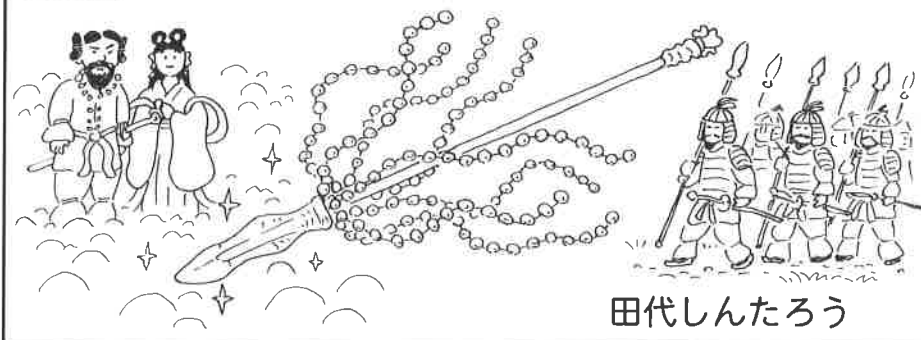


日本
武道
の
歴史

国生み神話の武具『矛』



田代しんたろう

エピソード1

「武」という漢字のおこり

武



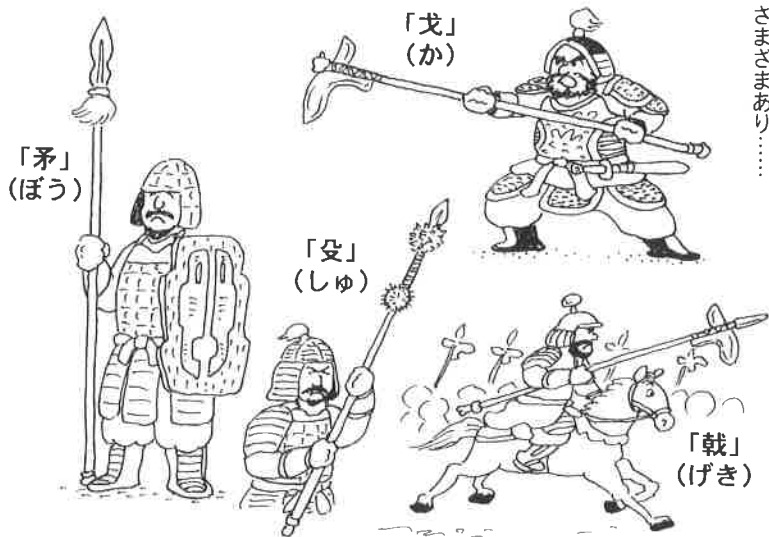
戈 || 長柄武器
止 || 足
の一種

戈止



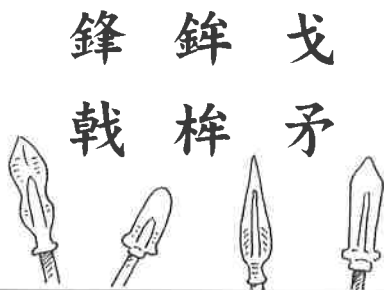
「止」は現代日本では「とまる」意味だが元々の漢字の意味は「足」「進む」だったつまり「武」は戈を持って堂々と前進する意味になる

古代中国では長柄武器はなまなまあり……



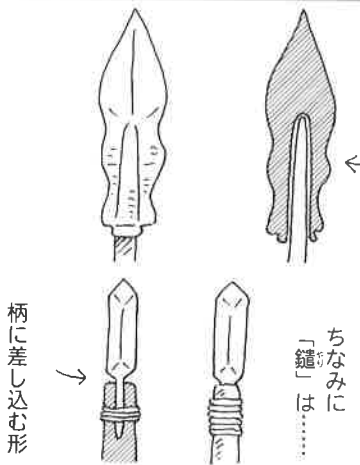
実用の武器として日本に伝えられたのは「矛」のみだった

日本では長柄武器を「ほこ」と総称したのでこれらすべてが「ほこ」を表す漢字となった



矛の構造

刀身の裾がソケット状で茎部分は柄を差し込む穂袋造りになっている



「矛盾」の語源

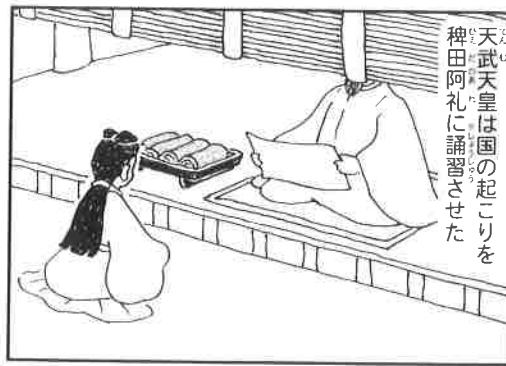
中国戦国時代の書『韓非子』にある故事。楚の国に盾と矛を売る商人がいた。「この盾は堅固でどんなに鋭利な刃物も突き通すことはできない」。また「私のこの矛は鋭く、どんなものでも貫く」と自慢。それを聞いた人が「ではその矛でその盾を突いたらどうなるか?」と尋ねた。商人は何も言うことができなくなってしまう。つじつまが合わないという意味。



エピソード2
古事記による日本創生



7世紀後半
飛鳥浄御原宮



天武天皇は国の起こりを
神田阿礼に誦習させた

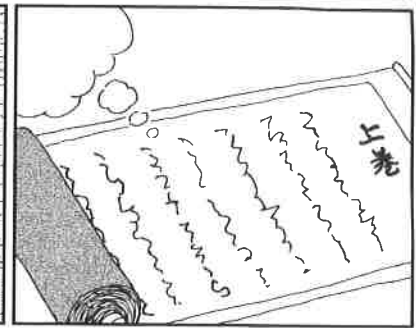


太安万侶が書物に編纂

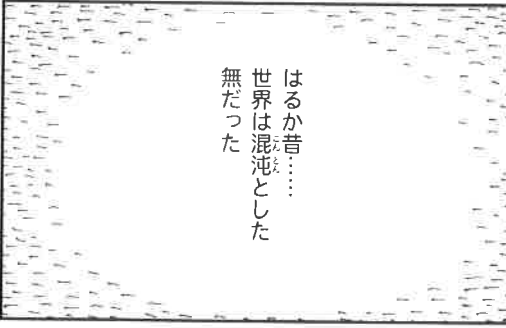


『古事記』の完成

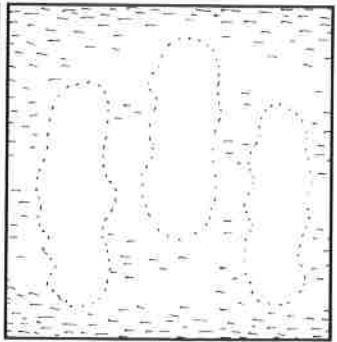
元明天皇



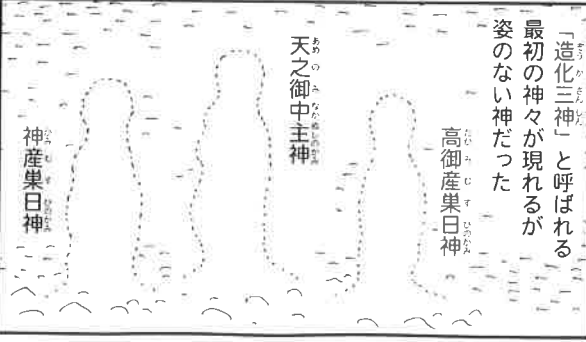
三貴



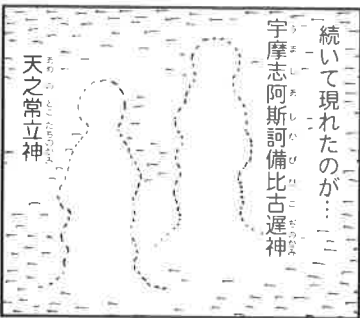
はるか昔……
世界は混沌とした
無だった



「造化三神」と呼ばれる
最初の神々が現れるが
姿のない神だった



高御産巢日神
天之御中主神
神産巢日神



続いて現れたのが……
宇摩志阿斯訶備比古遲神



さらに……
国之常立神
豊雲野神

いずれも姿は見えず
男女の区別もない独り神だった



そして姿を現すのが……

最後に
生まれたのが……

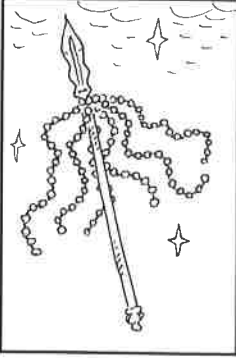
男神・女神が対になった10名の神々



汝ラニ
ツカワス
モノガアル



イザナキ
イザナミ



これで
国土を

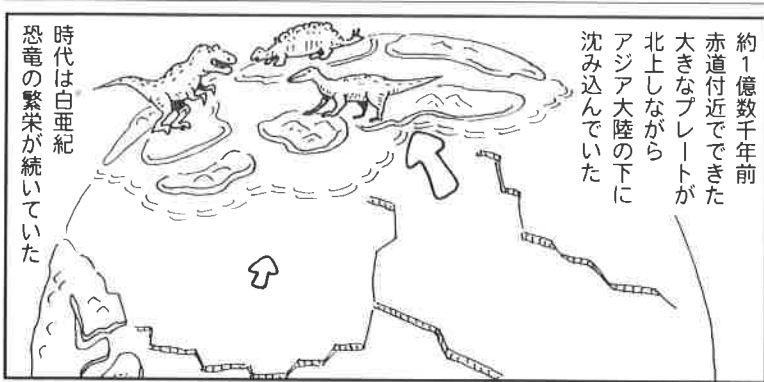
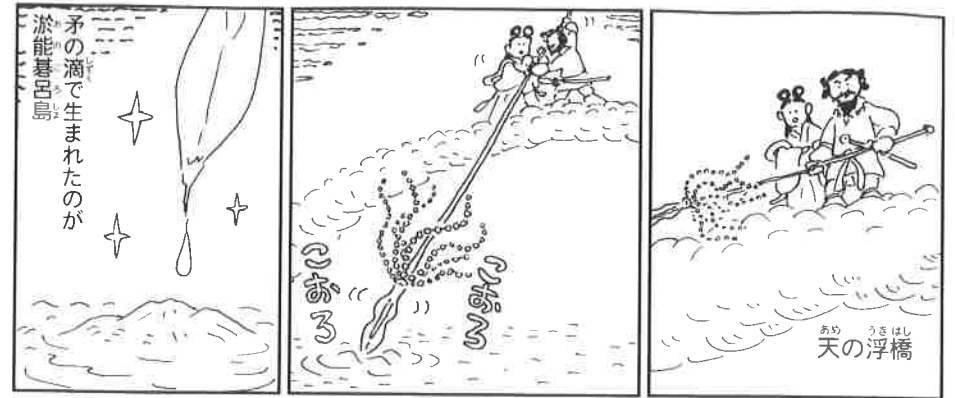
天沼矛



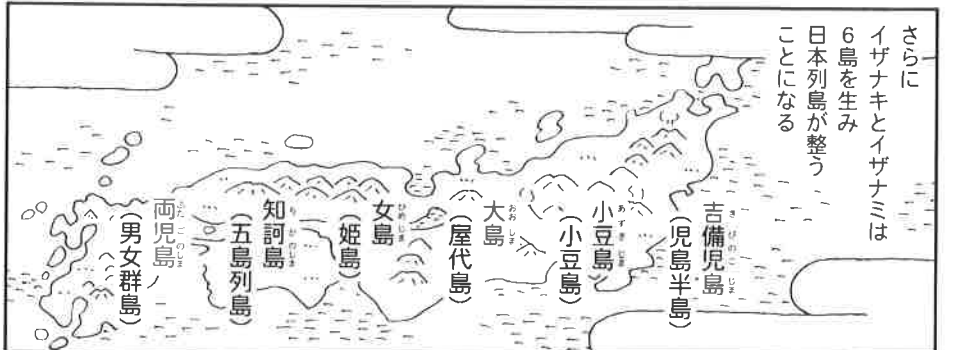
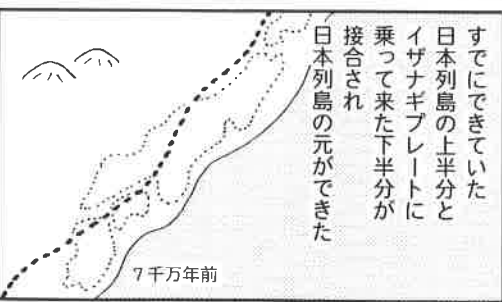
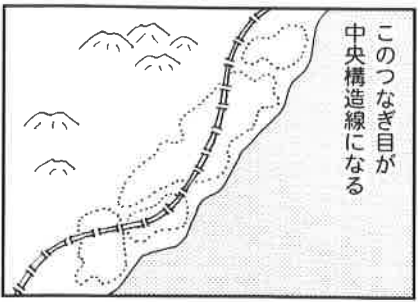
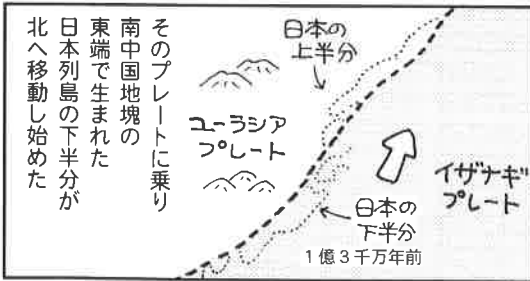
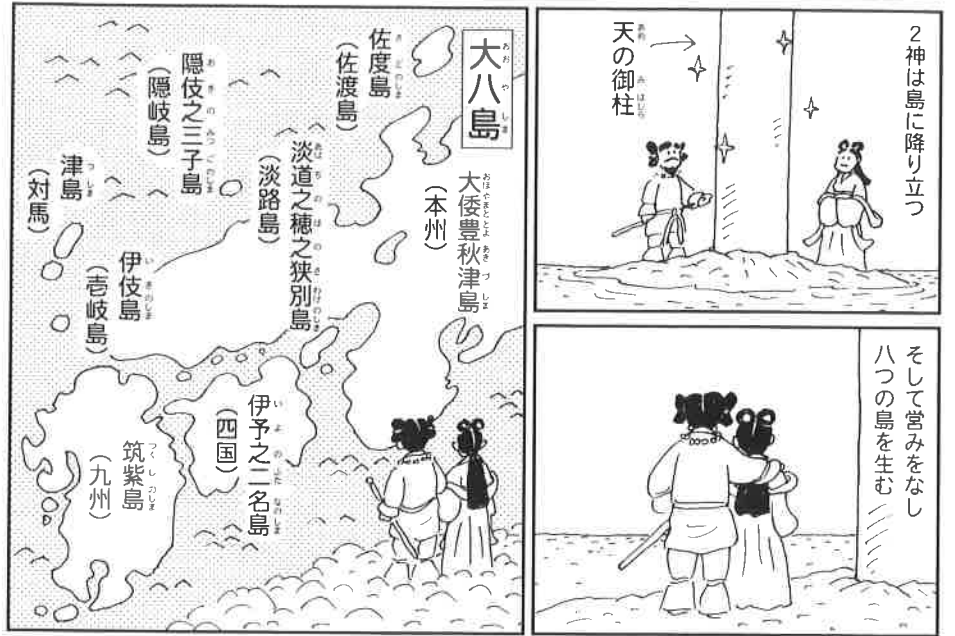
ソノ矛ニヨツテ
島ヲ生ミ
降り立テ



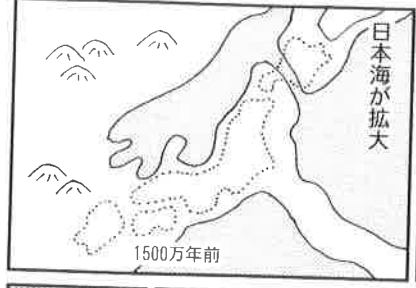
行こう



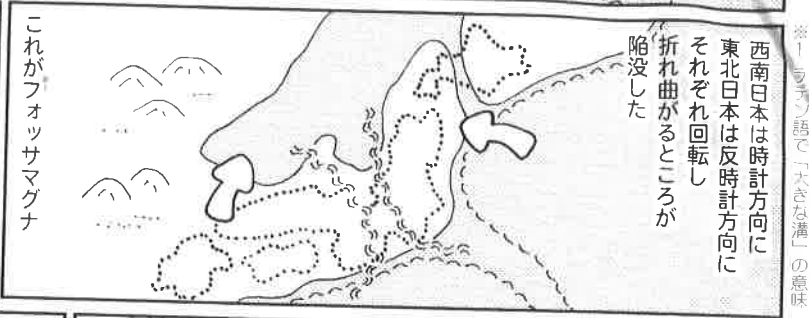
エピソード3
日本列島を生んだ
イザナギプレート



その後大陸のへりが割れ海溝帯が形成され湖水群ができたこれが後の日本海

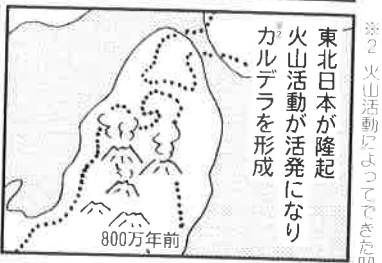


西南日本は時計方向に東北日本は反時計方向にそれぞれ回転し折れ曲がるところが陥没した



列島は変化を続けた

東北日本が隆起火山活動が活発になりカルデラを形成



伊豆・小笠原弧の前部が本州へ衝突伊豆半島になる



何百万年の時が流れる中大陸では人類が誕生し



1万8千年前海水面は現在よりも120mほど低く日本海は閉鎖され日本と大陸は陸続きになっていた



氷河期が終了し海面が上昇日本は大陸から離れ現在の形となった



現在も日本列島誕生のつなぎ目中央構造線は列島を横断する断層として確認される



エピソード4 現在の沼島を巡る

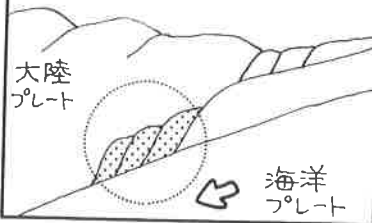
※漁師さんの船で島を一周するおのころクルーズを利用できます



沼島 (兵庫県南あわじ市)

そして「鞘形褶曲」

「鞘形褶曲」はイザナギプレートが大陸の下に沈み込みながらその表層を大陸に付加させて結晶片岩に変成させる中で生まれた……



まさに「1億年前にできた地球のシワ」なのだ



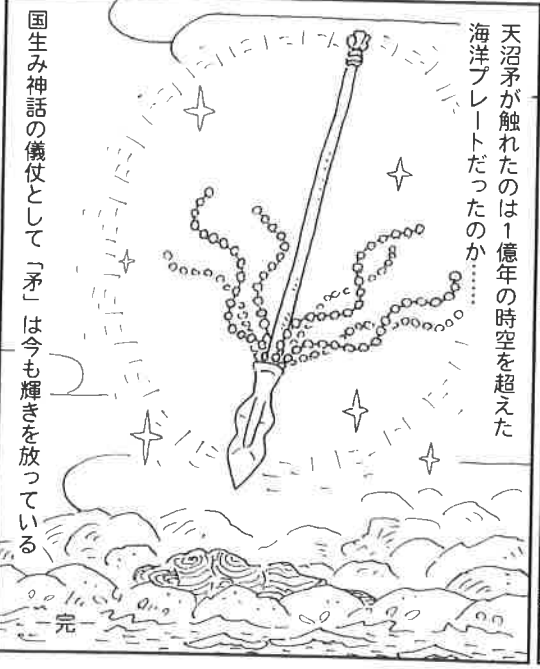
エピソード 矛



平安時代以降は太刀や薙刀が主力になり矛は儀仗としては残るものの儀仗としては日本の歴史から消えることになる



天沼矛が触れたのは1億年の時空を超えた海洋プレートだったのか……



※儀仗＝儀式等に使われる武具、兵仗＝戦闘用の実用の武器